

日本山岳会蔵資料紹介 No.2

[資産番号] 00111

[資料名] 大木操旧蔵の山岳写真・ガラス乾板165枚

[部門名] 写真

[寄贈者] 大木 操

[受入日] 1969年6月19日(アルバムは1979年3月19日)



① 10-10 (大木操)
「8.17 帰京後の登山姿」
手に着英蓆を巻いた金剛杖
肩に手札型カメラと雑囊
腹に黒兵古帯を巻いている
カビネ写真草箱と登山用竹行李



② 8-1 「8.7 河童橋のウェストン夫妻」
上条嘉門次、根本清蔵



③ 12-1 「7.20 三角池のキャンプ」
モルゲンロートに輝く剣、立山



④ 7-7 「8.6 前穂高岳頂上にて」



大木操が1912～1914 (大正1～3) 年に撮影した旧蔵の山岳写真。ガラス乾板165枚 (手札判146枚、キャビネ判19枚)、目録、原版焼き付け写真アルバムである。「組み立て暗箱カメラ」で撮影したもので、ガラス乾板のそれぞれに、写真原版が添えられている。原版目録は、1～16 (山域、日時) の項目からなり、1-1……16-12まである。アルバムは、大木が晩年に整理したものと思われる。各写真に詳細な説明が添えられている。どれをとっても、黎明期の登山を知る上で貴重なものばかりである。

写真①、大木である。写真②、大木の写真で最も有名な「河童橋のウェストン夫妻」。写真③、「7.20 三角池のキャンプ」。写真④、「8.6 前穂高岳頂上にて」、氏名が記されている。写真②は、前穂高岳より下山後の翌7日、上高地で撮影したもの。

なお、日本山岳会ホームページ→委員会活動→資料映像委員会→所蔵資料紹介へとアクセスすると、「会報ページそのもの」を拡大して見ることができます。活用ください。また、公開資料に関する情報・ご意見・ご教示など、下記までお寄せください。

✉ jacshiryo102@jac.or.jp

大木 操(おおきみさお)
(1891～1981年)
東京生まれ。東京府立第四中学校、旧制第一高等学校へ進む。一高時代に登山を趣味とした。東京帝国大学法科大学独法科卒業後は官僚、政治家として活躍。退任後は、東京都副知事を務めた。

日本山岳会会報 山 816号

2013年(平成25年)5月20日発行
発行所 公益社団法人日本山岳会
〒102-0081
東京都千代田区四番町5-4
サンビューハイイツ四番町
TEL 東京(03)3261-4433
FAX 東京(03)3261-4441
発行者 日本山岳会会長 尾上 昇
編集人 柏 澄子
Eメール:jac-kaiho@jac.or.jp
印刷 株式会社 双陽社

◆編集後記◆
●編集部に嬉しい便りが続いた。先月号で紹介した絵本『アルパタ山のピッケル物語』について、購読希望の連絡が相次いだという報告や、連載「日本山岳会蔵資料紹介」をきっかけに、旧知の間で会話が弾んだことなどだ。会員の広場、輪としての会報の役割を、なかなか形にできずに試行錯誤中であるため、ひとときわ勇気づけられる声に感謝しました。

(柏澄子)

場所 集合・解散ともに、上高地
ビクターセンター前広場
費用 600円(資料代、保険料)
申込 5月27日までに、大船武彦
✉ shbtaw@yahoo.co.jp
*小雨決行。一般参加もあります。
*申込み者に詳細案内を送ります。